

## 第2回白石市まち・ひと・しごと創生戦略会議 事前意見

### 該当箇所

- ・ 5～6 ページ 人口問題は少子高齢化に加えて、都市部への集中（相対的に）、農村部の過疎化という問題がある。  
5～6 ページである程度読み取れるが、特に農村部の高齢化の推移が大きい。
- ・ 全体的に 内容は総論なので、31 ページ以降が重要になると思う。
- ・ 施策について ○国内の観光客の誘客について  
「観光」は「交流」に移行していると言われている。リピーターを増やし、白石のファン作りを行い、定住に向けた観光の交流プログラムを早急に作らなければならない。  
(例)
  - ・ 新幹線を使って、都市圏で働き、住まいは白石で！のキャンペーンを制作し、発信。自然豊かな田舎で暮らす傾向はコロナの影響もあり、若い世代に増えている。インターネットのより良い環境が整えば、リモートワークが次世代の主流になる。「自然豊か」「温泉」「土地や物価が安い」等をアピールし、古民家をオシャレにリノベーションし、貸家や、売家として発信。○海外からの観光客の誘客について  
コロナの影響もあり、海外からの観光客が戻るのにはあと、2～3 年かかると言われている。その間のブランクを利用して、海外からの観光客に向けて交流プログラムを作り込む時期にするべき。  
(例)
  - ・ 甲冑を貸し出しし、写真を撮る→YouTube にあげられるくらいの動画を作成。
  - ・ 仙台市内の海外からの留学生を無料で招待し、インスタグラムでアップしてもらい、観光客誘客へとつなげる。
  - ・ 廃校になった小学校を利用して、日本語学校を開設。そのことにより、白石の人口も増え、定住する海外からの労働者も確保できる。